

農政の動き 2017年7月28日～8月1日

◎全国知事会議が閉幕「強化プロ」に提起も

岩手県盛岡市で開かれていた全国知事会議が、2日の日程を終え閉幕した。会議では「地域経済の好循環拡大に向けた提言」を採択。農業の振興では、政府の「農業競争力強化プログラム」について各地域の農業・農村の実情を十分に踏まえて推進するよう提起した。また、安定した農業経営の確立に向けて、資材の効率的な利用などへの支援などとともに、新たなセーフティーネットとして導入する「収入保険制度」の効率的・円滑な実施など農業者の経営安定を図る支援の充実・強化を求めた。(7月28日)

◎JA全中の奥野会長が任期最後の定例会見

JA全中の奥野長衛会長は東京都内で、任期最後となる定例会見に臨み、後任に内定しているJA和歌山中央会の中家徹会長について「協同組合の精神を熟知している」と強調し、JAグループを引っ張っていくことに期待感を示した。また、一連の農協改革に対応してきた自身の任期(2年間)の評価については「後の人に任せたい」と述べた。(28日)

◎16年産大豆 前年産比7.8%安の9364円

日本特産農産物協会は、2016年産大豆の入札取引が終了したと発表した。60<sup>キ</sup>当たりの落札価格の年産累計は、前年産比7.8%安の9364円で、内訳は普通大豆が8.0%安の9467円、豆腐向けなど特定加工用大豆は7.7%安の8735円だった。(31日)

◎農業競争力強化支援法が施行

農業競争力強化支援法が施行した。生産資材価格の引き下げや流通・加工構造の改革に向け、今後、関連業界に事業再編などを促す改革が具体的に進められていく。ただ、多くの農業者・農業関連業者に影響を与える改革となるだけに現場実態を踏まえた丁寧な施策展開が課題になりそうだ。(8月1日)

◎沖縄の7月の海面水温が2年連続で最高値

沖縄気象台は、沖縄の南の海域の7月の月平均海面水温が30.2度(速報値)となり、調査開始(1982年)以降、同月の最高を2年連続で更新したと発表した。平年比より0.9度高い。(1日)

◎16年度の食中毒数 63件減の1139件

厚生労働省は、2016年度に国内で発生が報告された食中毒の事件数は前年度比63件減の1139件だったと、内閣府の食品安全委員会で報告した。患者数も2466人減の2万252人となった。一方、死者数は8人増の14人でうち10人がO157が原因だった。なお、報告のない事例も相当数あるとみられており、同省はサルモネラ属菌、腸炎ピブリオ、カンピロバクターの3物質だけでも実際の患者数は数百から数千倍に上るとの推計を示した。(1日)